

証券コード：2282

日本ハムグループのご紹介

～ニッポンハムって「実は…」？～

2018年10月5日

日本ハム株式会社

総務部長 土田 一耀

- 会社沿革
- グループの全体像
- 4つの経営軸
- 主力事業の特長と強み
- 『中期経営計画2020』について
- 株主還元など

会社沿革

①

- 1942年 3月 創業者大社義規が徳島市にて徳島食肉加工場を創設
(今年で創業76年)



- 1951年 12月 徳島食肉加工場から徳島ハム(株)に組織変更

- 1963年 8月 鳥清ハム(株)と合併、商号を日本ハム(株)に変更し、大阪市に本店を移転
「日本ハム株式会社」誕生



- 1973年11月 プロ野球球団日本ハム球団(株)を設立
(今年で球団設立45年)



会社沿革 ②

● 1977年 3月 ロサンゼルス
のデイリーミーツ社を買収、
海外事業スタート



● 1981年 7月 マリンフーズ(株)の
事業を継承し、
水産事業に進出



● 1992年 7月 関西ルナ（現：日本ルナ）
の事業を継承し、
乳製品事業に進出



● 2003年 7月 (株)宝幸（旧宝幸水産）の
株式を取得し、
水産・乳製品事業を強化



企業理念

1. わが社は、「食べる喜び」を基本のテーマとし、時代を画する文化を創造し、社会に貢献する。
2. わが社は、従業員が真の幸せと生き甲斐を求める場として存在する。

- 社会における存在意義
- グループ全従業員が共有する理念
- グループ経営の根幹となるもの

食べる喜び： 「おいしさの感動」と「健康の喜び」

食

幅広い商品の提供
「食」に関する支援

食べる喜び

スポーツ

プロスポーツの運営
アマチュアスポーツの支援

おいしさの
感動



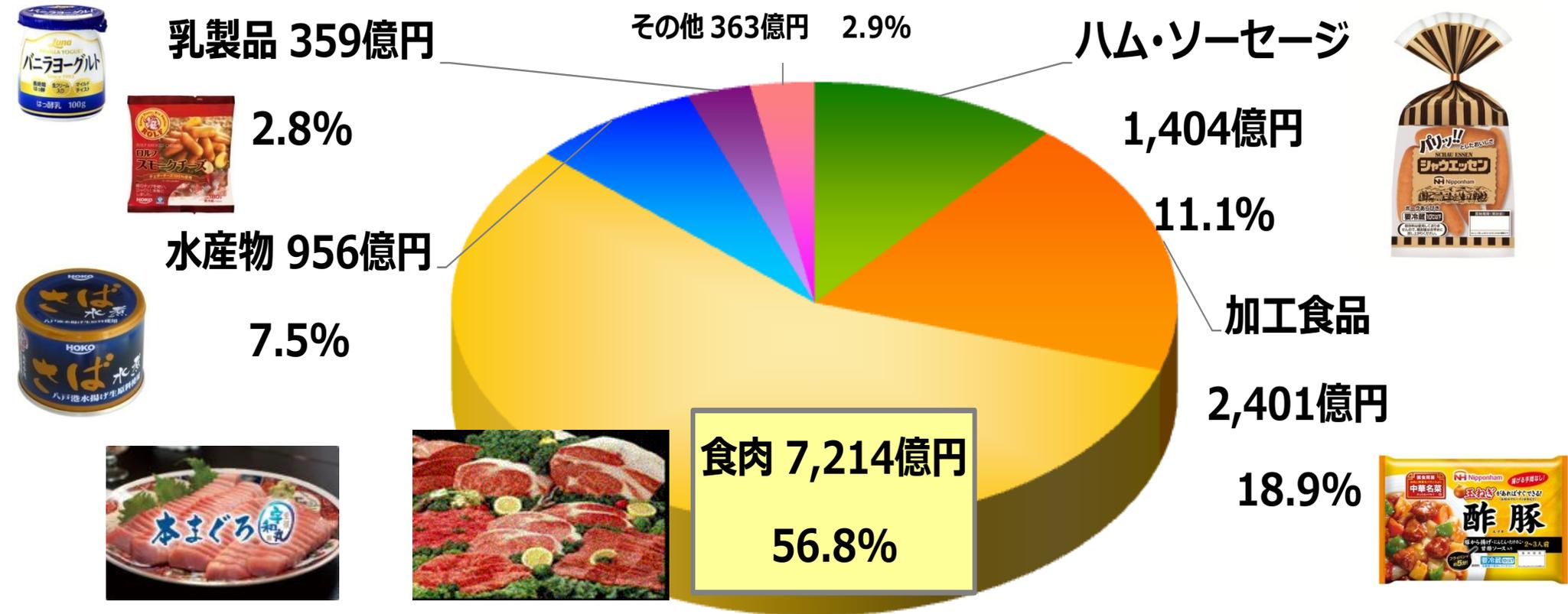
健康の
喜び

幸せな生活の
原点



グループの全体像

売上構成と従業員数



	合計	国内	海外
連結売上高 (2018年3月期)	12,692億円	11,440億円	1,252億円 (構成比 9.9%)
従業員数 (2018年3月末時点)	30,654人 ※臨時従業員を含む	22,724人	7,930人 (25.9%)

ニッポンハムグループの事業領域

●1942年ハム・ソーセージの会社として創業以来、食の領域で事業を拡大してきました。

ハム・ソーセージ



食肉



天然系調味料



バンダー事業 (レディミール)



加工食品



冷凍食品



水産



食物アレルギー 対応食品



フリーズドライ



チーズ



はっ酵乳 乳酸菌飲料



健康食品



食品検査キット



日本の食品業界では

単位:億円 (2017年度決算数値)

	企業名	売上高	営業利益	営業利益率	ROE
1	サントリーHD (非上場)	※24,203	2,536	10.5%	19.5%
2	日本たばこ産業	21,397	5,611	26.2%	15.0%
3	アサヒグループHD	※20,849	1,832	8.8%	14.2%
4	キリンHD	※18,637	2,111	11.3%	29.6%
5	日本ハム	12,692	492	3.9%	8.8%
6	明治HD	12,409	947	7.6%	13.1%
7	味の素	11,502	833	7.2%	9.7%
8	山崎製パン	10,532	301	2.9%	8.4%
9	マルハニチロHD	9,188	245	2.7%	14.9%
10	伊藤ハム米久HD	8,319	216	2.6%	7.3%

※:酒税込の金額

4つの経営軸

グループの4つの経営軸

「生命の恵み」を大切にする



品質に 妥協しない



人輝く、食の未来



「食べる喜び」、 楽しく健やかなくらし



食の 新たな可能性



Asiaへ

生命の恵みを大切に作る



【拠点数】(2018年4月1日現在)

農場
497

工場
92

営業
304

【農場拠点数内訳】

	国内	海外	小計
自社農場	122	27	149
委託農場	124	0	124
預託農場	77	147	224
合計	323	174	497

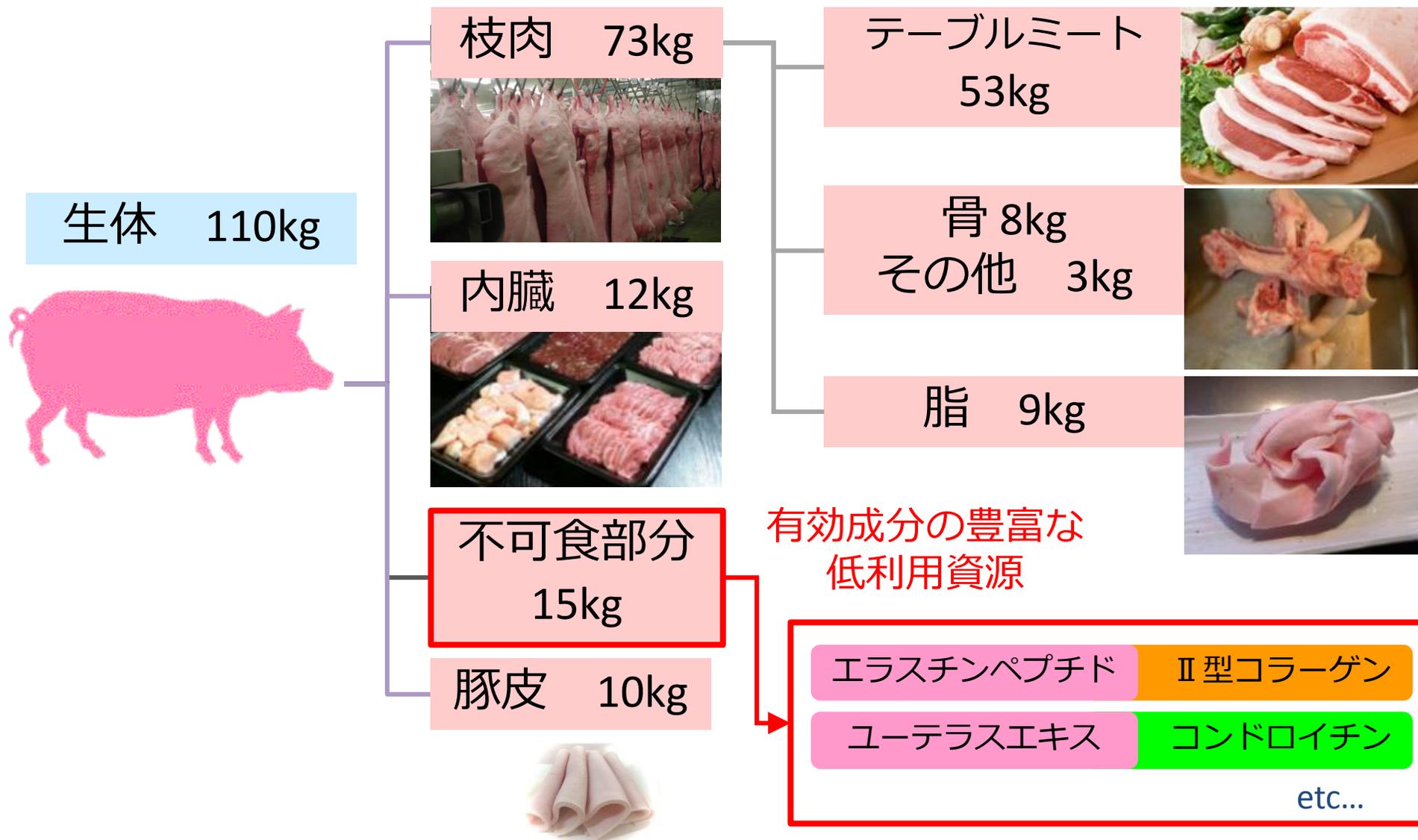
品質に妥協しない

【品質保証担当者数】

合計1,014名

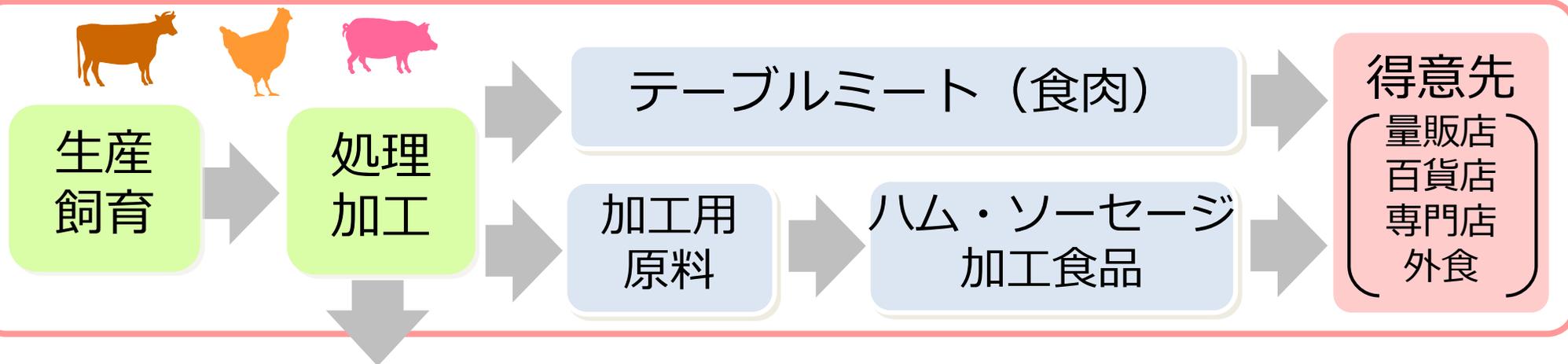
(2018年3月末現在)

生命の恵みを活かすきる



食の新たな可能性

インテグレーションモデル：可食部分は食肉と加工用原料へ



有効成分の豊富な低利用資源は機能性素材へ

- ・ 鶏肉由来成分による運動能力向上

商品名：イミダのカ
(イミダゾールジペプチド)

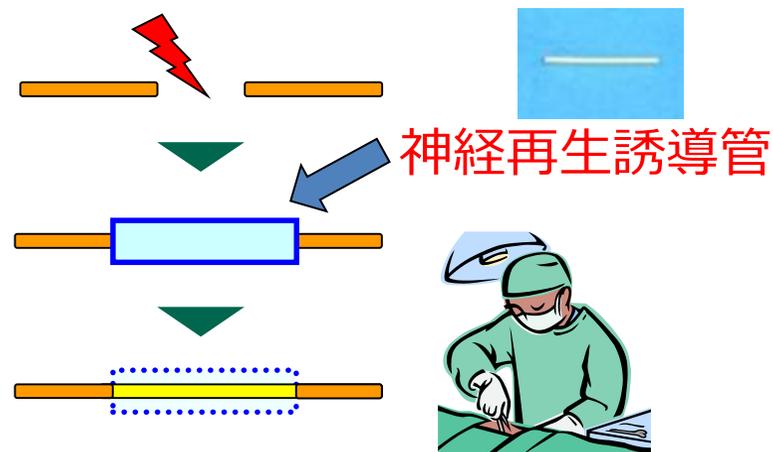


- ・ アレルギーを緩和する取り組み

商品名：ときめきカフェ 植物性乳酸菌
(植物性乳酸菌 HSK201の活用)



- ・ 医療用コラーゲンによる神経再生医療



コミュニケーション



出前授業
手作り体験教室



工場見学



ハムリンズ
食育教室



キッズニア
への出展

情報発信



ホームページ（食物アレルギーねっと）



国内最大級のBBQサイト
「BBQ. GO!」の運営

食とスポーツとの関わり

アマチュアからプロフェッショナルまで、幅広い関わり

- 少年野球教室
- サッカー教室
- マラソン大会



北海道日本ハムファイターズ



セレッソ大阪



TVコマーシャルのご紹介

●テーマ

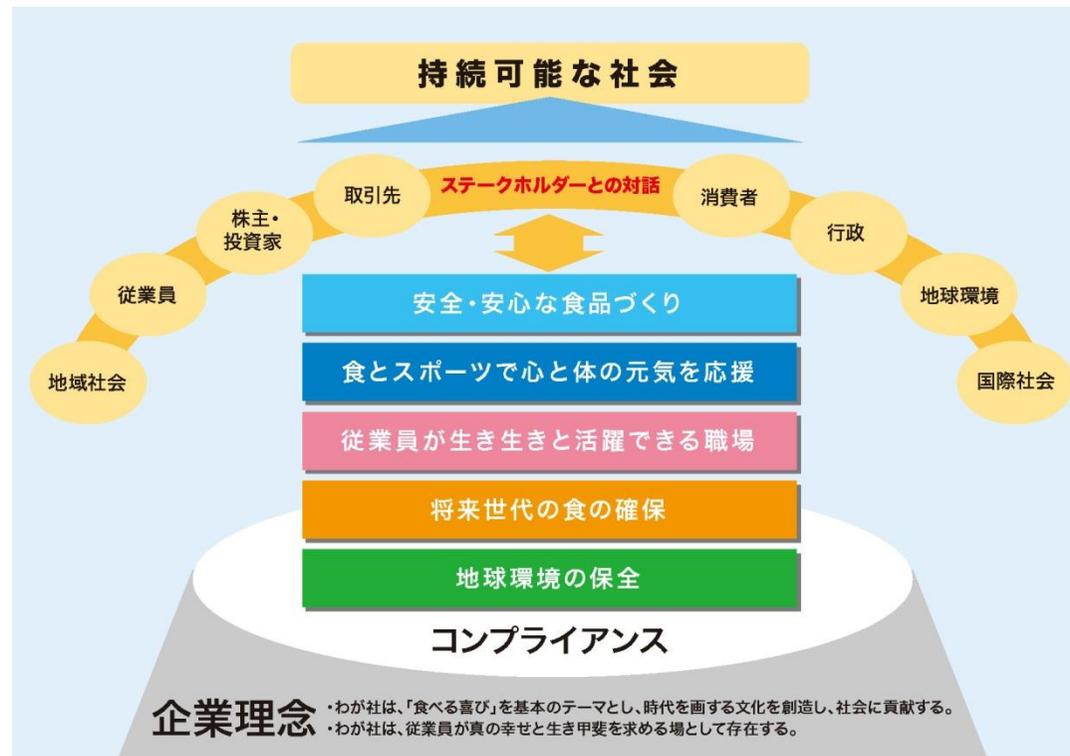
「強いカラダをつくる、は終わらない」



- ・ 2018年1月より、全国にて順次放映
- ・ ニッポンハムグループ「食とスポーツ応援アンバサダー」として、北海道日本ハムファイターズの西川選手が出演

CSRにおける5つの重要課題

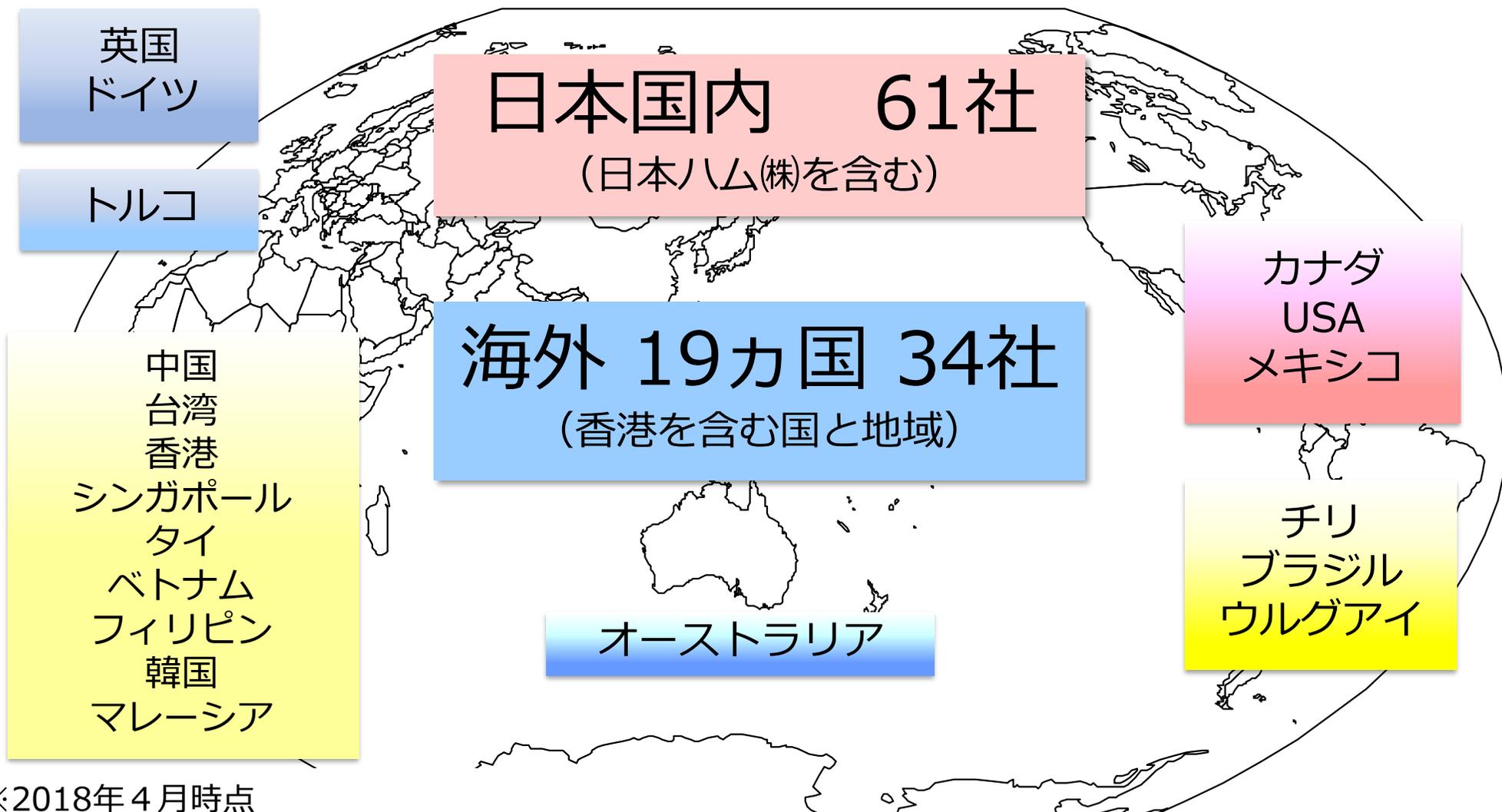
- ・ 2016年1月、『CSRの5つの重要課題』を特定
- ・ 企業理念を経営の根幹とし、ステークホルダーとの対話を大切にしながら、コンプライアンスを基盤に5つの重要課題を中心としてCSR活動を推進



※ 「CSRにおける5つの重要課題」の詳細につきましては
『ニッポンハムグループ CSRコミュニケーションブック2018』をご参照ください。

主力事業の 特長と強み

グループの国内外展開



※2018年4月時点
※持分法適用会社を含む
※国名は駐在事務所を含む

『食の大地』・北海道とのつながり (北海道の主要生産拠点)

日本ハム北海道ファクトリー(株)
旭川工場 (旭川市)
《ハム・ソーセージ製造工場》

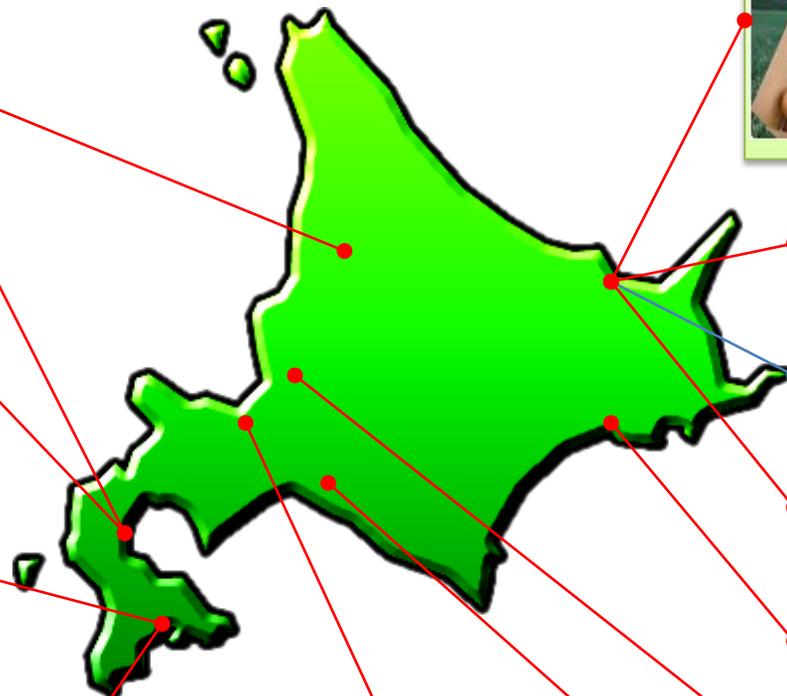
インターファーム(株)
道南事業所 (二海郡八雲町)
《豚の生産事業》

日本フードパッカー(株)
道南工場 (二海郡八雲町)
《牛・豚の処理事業》

(株)函館カール・レイモン函館市
《ハム・ソーセージの製造・販売》



2018年7月6日～8日
女子プロゴルフ
トーナメント開催
(アンビックス函館倶楽部
上磯ゴルフコース)



家畜の排せつ物を
肥料として利用する
循環型農業の展開
(3月末単元保有株主様
ご優待品対象商品)

日本ホワイトファーム(株)
知床事業所 (網走市)
《鶏の生産・処理事業》

インターファーム(株)
知床事業所 (網走市)
《豚の生産事業》

日本フードパッカー(株)
道東工場 (網走市)
《牛・豚の処理事業》

釧路丸水(株) (釧路市)
《水産加工品の製造》

日本ハム惣菜(株)
北海道工場 (江別市)
《加工惣菜の製造事業》

日本ホワイトファーム(株)
札幌事業所 (勇払郡厚真町)
《鶏の生産・処理事業》



(株)北海道日本ハムファイターズ
(北海道179市町村応援大使)

食肉事業本部

国内食肉

輸入食肉

生産
・
肥育

処理
・
加工

販売

牛 年間出荷頭数 約4,000頭 **豚** 年間出荷頭数 約62万頭 **鶏** 年間出荷羽数 約7,100万羽





畜産農家

牛 年間処理頭数 約5.3万頭 **豚** 年間処理頭数 約181万頭 **鶏** 年間処理羽数 約7,100万羽





社外仕入

海外事業本部

社外仕入

日本ハム(株) 食肉事業本部



量販店、食料品店、精肉店、食肉卸、中・外食業、各種食品製造業のお取引先

食肉の国内シェアと銘柄

牛 

約20万トン

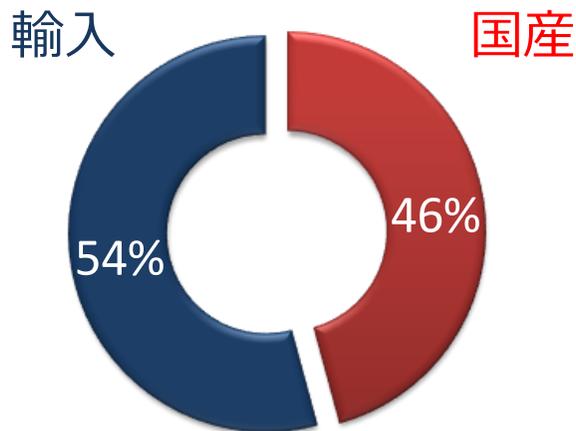


豚 

約43万トン

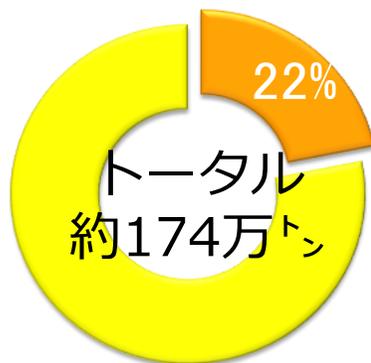


取扱数量比率



鶏 

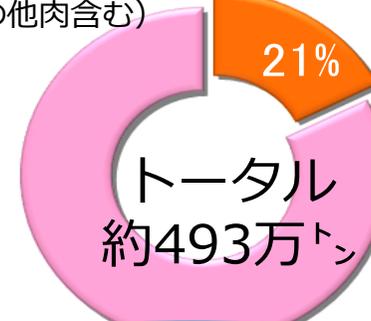
約38万トン



合計

(その他肉含む)

約101万トン



国内シェア
25%を目指す

(2018年3月現在 当社調べ)

ハム・ソーセージの製造



加工食品の製造



業務用商品の製造



物流・販売

量販店、食料品店、精肉店、食肉卸、中・外食業、各種食品製造業のお取引先

水産事業

水産原料・加工品の
製造・販売
[マリンフーズ・釧路丸水
・宇和海マリンファーム]



クロマグロ養殖

水産加工品の製造・販売
[宝幸]



乳製品事業

乳製品(チーズ等)の
製造・販売[宝幸]



発酵乳および乳酸菌飲料
の製造・販売[日本ルナ]



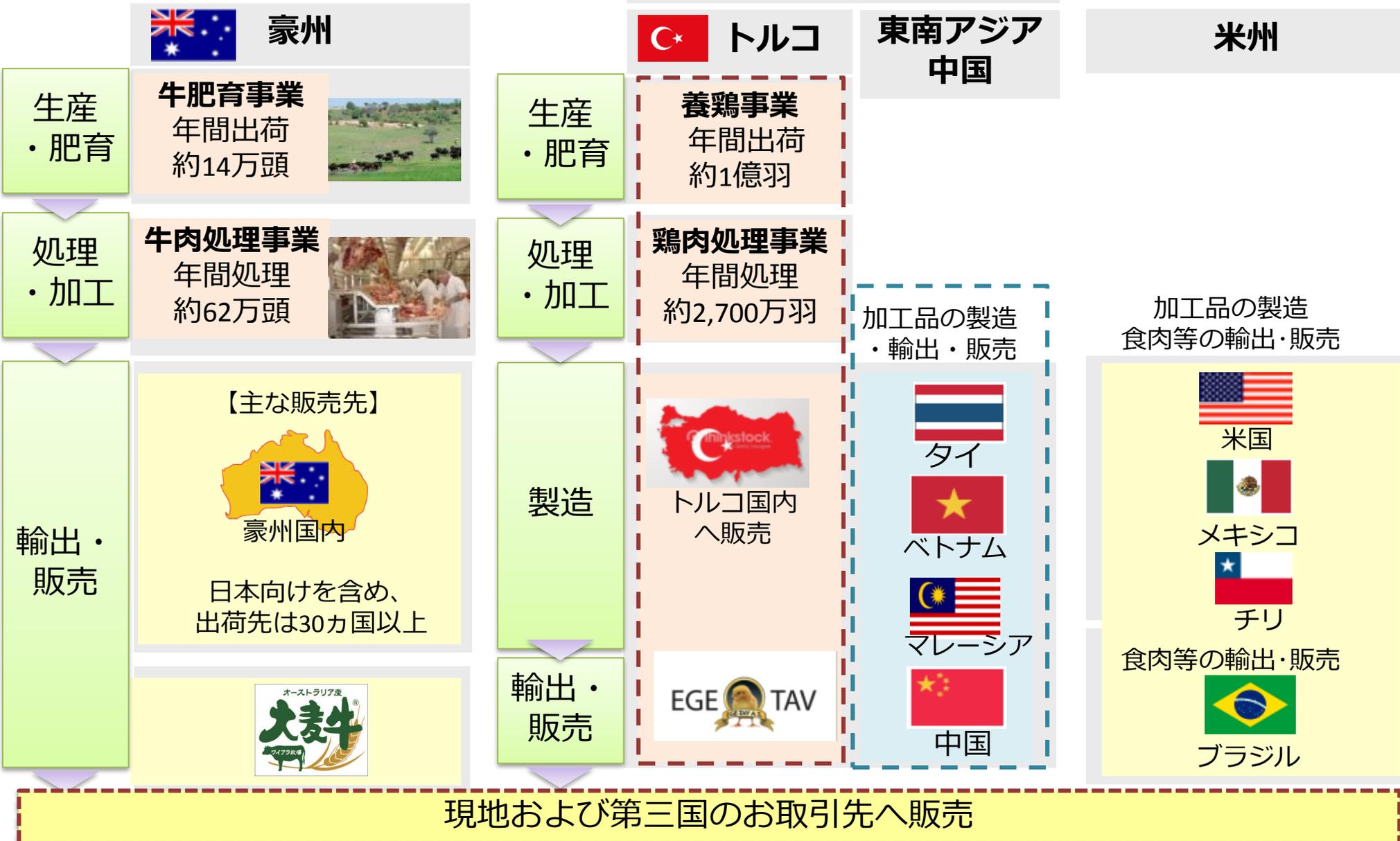
その他

フリーズドライ等の食品の
製造[宝幸・大刀洗工場]



量販店、食料品店、中・外食業<寿司チェーン等>、各種食品製造業のお取引先

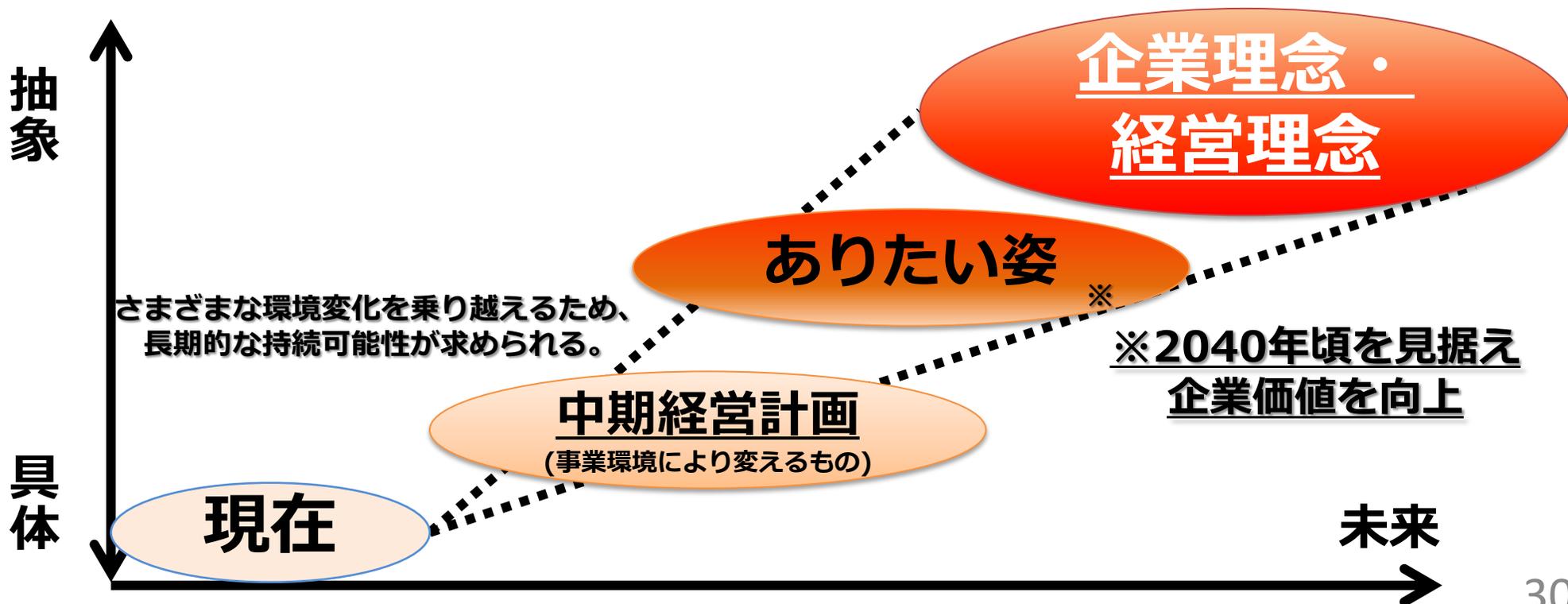
海外事業本部



『中期経営計画2020』 について

テーマ ▶ 未来につなげる仕組み作り

- ▶ 短期思考・既成概念から脱却し、より 長期思考へ
- ▶ 全社戦略と事業戦略との 整合性を高め、機能戦略も推進
- ▶ 結果にこだわり、今回の中期経営計画を達成する仕組みを構築



テーマ

未来につなげる仕組み作り

- ① 既存事業の効率化による収益力の強化
- ② 消費者との対話を通じた価値の創造
- ③ 食の未来の構想／実現のための技術力強化・育成
- ④ 海外市場展開のギア・チェンジ
- ⑤ 持続可能性（サステナビリティ）の追求

『中期経営計画2020』業績目標

目標：営業利益560億円・営業利益率4.0%

	前中計	中期経営計画2020		
	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
売上高	12,692	13,100	13,600	14,100
営業利益	492	500	520	560
営業利益率	3.9%	3.8%	3.8%	4.0%
ROE	8.8%	7.5%	7.3%	7.4%
ROIC	6.2%	➡	➡	5.5%以上

株主還元など

株式併合および単元株式数変更①

- ・2017年5月9日に
2018年4月1日を効力発生日とする
『株式併合および単元株式数の変更』を発表
- ・2017年6月28日の定時株主総会にて、承認可決

2018年4月1日より

- | | | |
|--------|---|--------------------|
| ①単元株式数 | : | 1,000株単位を100株単位へ変更 |
| ②株式併合 | : | 2株を1株に併合 |

個人投資家の皆様が売買しやすい投資単位へ

※「株式併合および単元株式数変更」の詳細につきましては、2017年5月9日の発表資料をご参照ください。

https://www.nipponham.co.jp/ir/library/financial/pdf/2017/20170509_03.pdf

株式併合および単元株式数変更②

«2018年3月31日まで»

2:1の併合前の株価が2,100円とすると…

1,000株単位でのお取引であったので、

最低取得価額は、 $2,100円 \times 1,000株 = 220万円$

«2018年4月1日より»

2:1の併合前の株価が2,100円とすると…

①単元株式数 : 100株単位でのお取引

②2:1の株式併合後 : 株価は2倍の4,200円へ

最低取得価額は、 $4,200円 \times 100株 = 42万円$

理論上、従来の5分の1の価格でご購入頂けます

株主様ご優待品

2018年9月末日現在、1単元以上保有株主様へ贈呈分より

- ① 100株以上保有の株主の皆様へ、ご優待品を贈呈
- ② 長期保有の株主様の優遇制度を実施

● 変更後の株主優待贈呈基準 (2018年9月末日現在の株主さまへの贈呈より)

基準日		3月末(6月中旬～10月下旬 送付)、9月末(翌年3月初旬 送付)		
保有年数		3年未満	3年以上 5年未満	5年以上
株主優待内容	500株以上	<p>市価5,000円相当</p> <p>以下のなかから好きなプランを1つ選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 選べる自社グループ商品 ② 社会貢献団体「国連WFP」へ5,000円分の寄付 ③ スポーツ観戦チケット 	<p>市価7,500円相当</p> <p>以下のなかから好きなプランを1つ選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 選べる自社グループ商品 ② 社会貢献団体「国連WFP」へ7,500円分の寄付 ③ スポーツ観戦チケット 	<p>市価10,000円相当</p> <p>以下のなかから好きなプランを1つ選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 選べる自社グループ商品 ② 社会貢献団体「国連WFP」へ10,000円分の寄付 ③ スポーツ観戦チケット
	100株以上 500株未満	<p>市価1,500円相当</p> <p>以下のなかから好きなプランを1つ選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 選べる自社グループ商品 ② 社会貢献団体「国連WFP」へ1,500円分の寄付 ③ スポーツ関連グッズ 		

株主優待ページのURLは → https://www.nipponham.co.jp/ir/stock_info/yutai/



2018年3月末日現在の選べるご優待品カタログより

株主様とのコミュニケーション

- イベントやアンケートを通じて、株主様から頂いたご意見・ご要望を、商品開発やサービスに活かしております。

《株主様のご意見・ご要望の例》

『オーブントースターの形に合った、四角いピザを開発してほしい』



2017年の新商品として
四角いピザを発売

《株主様のご意見・ご要望の例》

『優待品の箱のデザインが良いので、小物入れとして使っています』

『優待品の箱が大きすぎる。廃棄しやすいサイズにしてほしい』

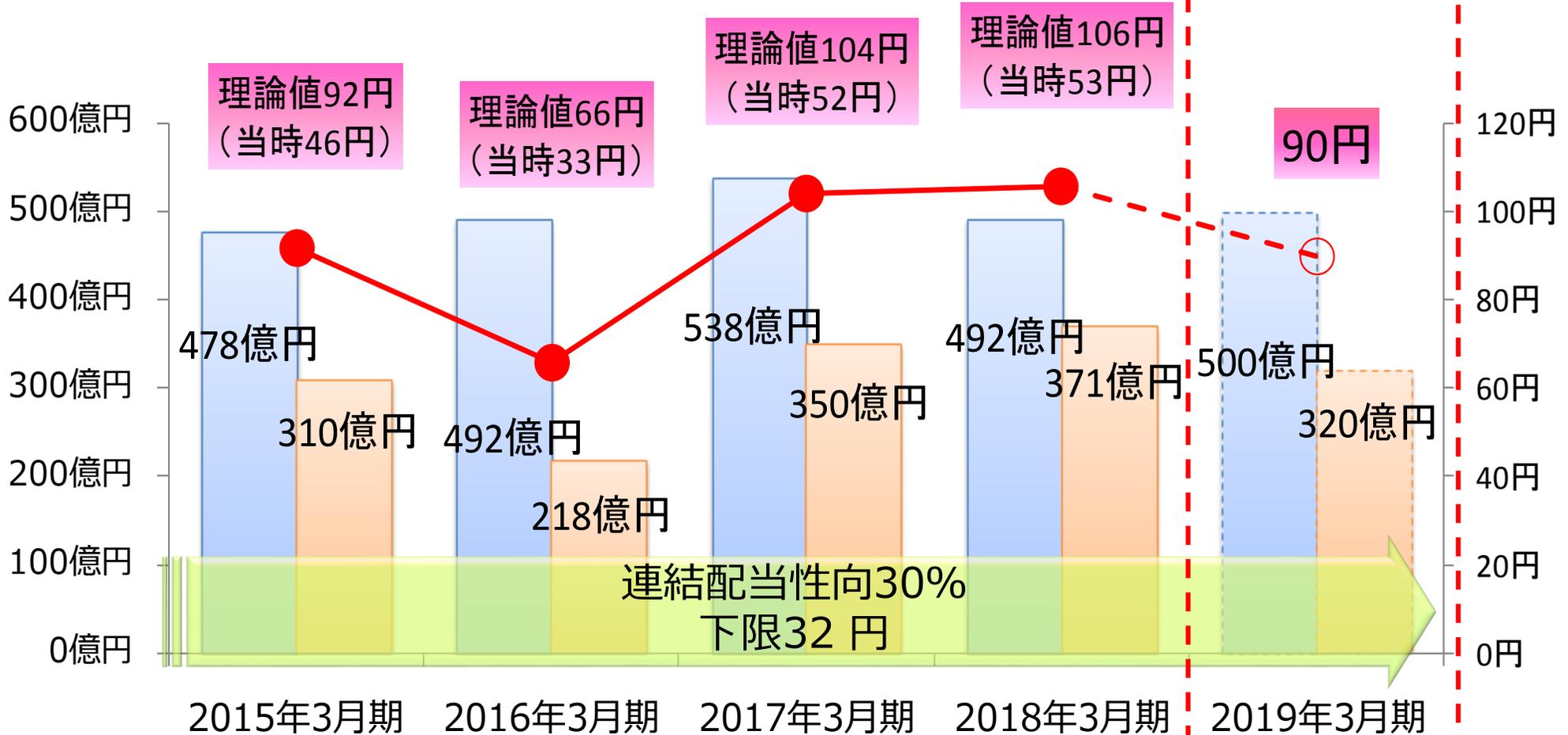
2016年9月末優待品にて
小物入れとしても
ご利用頂ける
デザインを採用

小型にしたことで、
廃棄処理もお手軽に



配当金と利益（連結）の推移

■ 営業利益
 ■ 当期純利益
 ● 1株当たり配当



※会計基準書205「財務諸表の表示」に基づき、非継続事業に関する2014年3月期から2017年3月期までの数値を一部組替えて表示しています。

※2018年4月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。

グラフ上の1株当たり配当の『理論値』は、公表当時の配当金額を2倍して算出した数値です。

当社株価の推移

NH Foods Ltd.

2018/9/27



- 株価 : 4,195円 (9月28日終値)
- 単元株数 : 100株 (2018年4月1日より)
- 配当 : 期初予測 1株当たり90円
- 配当利回り : 2.15% (期初年間予測配当にて算出)

世界で一番の『食べる喜び』を お届けする会社





Nipponham Group

人輝く、食の未来

見通しに関する注意事項

本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。

なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、日本ハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。